

期		題材	教材	題材の評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	前期	作者の思いを歌声にのせて合唱しよう	「生命が羽ばたくとき」	【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。	【思】リズム、旋律、強弱、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	【態】曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
		サミングや息のコントロールを身に付けて表現を工夫しよう	▶リコーダー 「サムのひとりごと」「誰も知らない私の悩み」 「レヴェル・プレイン」「カノン2 優しき流れ」	【知】リコーダーの音色や響きと奏法との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な息のコントロールやサミングなどの技能を身に付けている。	【思】音色、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫している。	【態】リコーダーの音色や響きと奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組もうとしている。
		旋律に合うリズムパターンをつくろう	「リズムパターンをつくろう」	【知】音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解している。 【技】創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や音の組合せなどの技能を身に付けている。	【思】リズム、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫している。	【態】反復、変化、対照などの構成や全体のまとまり、音の重なり方に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習に取り組もうとしている。
		曲の形式を捉え、パイプオルガンによる表現を鑑賞しよう	「小フーガ ト短調」	【知】曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	【思】音色、旋律、テクスチュア、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価やその根拠について考え、「小フーガ ト短調」のよさや美しさを味わって聴いている。	【態】曲想と音楽の構造との関わりやパイプオルガンに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。
		曲の特徴を生かして歌おう	「You Can Fly !」	【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。	【思】リズム、旋律、強弱、テクスチュアを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	【態】曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
		曲の構成を聴き取り、オーケストラによる表現を鑑賞しよう	「交響曲第5番 ハ短調」	【知】曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	【思】音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、「交響曲第5番 ハ短調」のよさや美しさを味わって聴いている。	【態】曲想と音楽の構造との関わりやオーケストラの豊かな響きに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。
2 学期		曲の形式を生かして歌おう	「浜辺の歌」 「早春賦」 「花の街」	【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体使い方などの技能を身に付けている。	【思】リズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	【態】曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
		箏の基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう	▶箏 「荒城の月」	【知】曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な右手の使い方や押し手などの技能を身に付けている。	【思】音色、リズム、旋律、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫している。	【態】曲想と音楽の構造及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組もうとしている。
		五つの音とリズムを組み合わせて旋律をつくろう	「平調子の特徴を生かして音楽をつくろう」	【知】音階や言葉などの特徴について理解している。 【技】創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や音の組合せなどの技能を身に付けている。	【思】リズム、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫している。	【態】音階や言葉などの特徴について関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習に取り組もうとしている。
		曲の特徴と構成のおもしろさを味わいながら鑑賞しよう	「ボレロ」 組曲「惑星」から「火星」	【知】曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。	【思】音色、リズム、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性について考え、「ボレロ」と「火星」のよさや美しさを味わって聴いている。	【態】曲想と音楽の構造との関わりやオーケストラの音色や響きに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。

		後 期	パートの役割を生かして合わせて歌おう	「翼をください」	【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解している。 【技】創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。	【思】リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	【態】曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
			雅楽の多様な表現を鑑賞しよう	雅楽「越天楽」	【知】音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解している。	【思】音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の固有性について考え、雅楽「越天楽」のよさや美しさを味わって聴いている。	【態】音楽の特徴とその背景や歴史、雅楽の楽器に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。
3 学 期			能の多様な表現を鑑賞しよう	能「敦盛」キリから	【知】音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。	【思】音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、能「敦盛」のよさや美しさを味わって聴いている。	【態】音楽の特徴とその背景となる文化や歴史に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。
			曲想を味わいながら合わせて歌おう	「そよぐ風の中で」 「この星のどこかで」	【知】曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。 【技】創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付けている。	【思】リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫している。	【態】曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組もうとしている。
			郷土のさまざまな芸能を味わいながら鑑賞しよう	「郷土の音楽や芸能」	【知】音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。	【思】音色、リズム、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について考え、郷土の音楽や芸能のよさや美しさを味わって聴いている。	【態】音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組もうとしている。